

NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安美紀 【発行日】2015.6.6(通巻第12号)
【HP】<http://www12.plala.or.jp/asian-kids-care/> 【E-mail】kids@zpost.plala.or.jp 【団体設立】2004.2.11
【TEL】090-5912-4515 【FAX】089-985-0389 【郵便振替】口座番号:01600-5-13009 口座名義:アジア キッズ ケア
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:アジアキッズケア

初夏を感じる季節となり、梅雨の蒸し暑さもひとしおですが、皆様にはお元気でご活躍のことと存じます。

さて、4月にネパールで地震が発生し大惨事となりました。アジアキッズケアでは、緊急にネパール被災者支援のために、ネパールの皆様と連携して、支援物資の収集・荷造りボランティア、募金活動を実施しました。ネパールの復興、子どもたちの学校や生活が以前のように回復するように、今後も支援活動を行ってまいります。

2015.6.6

NPO法人 アジア キッズ ケア 代表 喜安 美紀

11年間、毎月実施する荷造りボランティア活動 ※支援物資の送付 766箱

この1年間、アジアやアフリカの子どもたちに支援物資(衣類、文具、楽器、日用品等)を次のように発送しました。

- | | | |
|---------------------|------------------|---------------------------|
| ・2014.6 ウガンダ(5) | ・2014.7 フィリピン(6) | ・2014.8 ガーナ、ケニア(12) |
| ・2014.9 フィリピン(5) | ・2014.10 マリ(5) | ・2014.11 マラウイ(6) |
| ・2014.12 インド、韓国(10) | ・2015.1 ウガンダ(7) | ・2015.2 ガーナ(6) |
| ・2015.3 フィリピン(6) | ・2015.4 マリ(6) | ・2015.5 マラウイ、インド、ネパール(15) |

※支援物資の送付実績 766箱、送料経費総額 4,681,765円(2015.5現在)、12か国18か所に届けています。

＜支援物資のご提供のお願い＞ ※支援物資は、私たちのまごころを添え、「ハンドtoハンド」で届けます
子どもたちに送る支援物資として、夏物衣類(子ども～大人用:Tシャツ・ジーンズ・体操服等)、文房具(ノート類、鉛筆・ボールペン・シャープペン、消しゴム等)、楽器(ピアノカ等)、通学用バッグ、サッカーボール等がありましたらご提供をお願いします。 ※特に、衣類は洗濯して汚れやほころびのない物をお願いします。

ネパール被災者支援のための支援物資の送付

4月25日にカトマンズ北西で地震が発生し、死者が8000人を超える大惨事となりました。アジアキッズケアは、ネパールの3名の留学生、カトマンズの現地協力者ワトサル氏及びネパールNGO団体Ujyalo Foundationと連携して、緊急にネパール被災者支援のために、支援物資の収集・荷造りボランティア、募金活動を実施しました。

5月17日(日)は、小学生から大人までのボランティア、6か国の留学生など31名が集い、まごころ込めて衣類、文房具、ピアノカ等の楽器、ブルーシートなどの荷造りをしました。当日は、留学生サンジブさんから母国紹介をし、SGHの高校生等の皆さんとともに、ネパールと日本の友好を深めました。



奇跡的に倒壊物から救出された赤ちゃん



雨期を前に、地震により全壊した民家



ブルーシートの避難所での子どもたち



ネパール留学生サンジブさんによる母国紹介



SGHの高校生や他国の留学生と一緒に



参加者の集合写真、全員で手を繋ぎ

握手

ネパールからは、日々被災者情報が届き、被災した子どもたちの姿を見ると胸が痛くなります。アジアキッズケアの支援物資は、ネパールNGO 団体Ujyalo Foundation と連携し、寺院に隣接する孤児院や避難所の子どもたちの救済等に役立てられます。今後も、現地の被災者の方々のニーズに応じて、私たちのまごころと一緒に届けたいと思っています。7月には、第2回のネパール支援活動を行います。可能な範囲で募金にもご協力ください。

フィリピン南端の貧困の子どもたちのための支援活動

フィリピン南端ミンダナオ島のジェネラルサントスでの子ども支援。フィリピンは、南ほど貧しく、治安も悪くなると言われています。ここでは、義務教育の制度がなく、貧困のため学校に行けない子が3割を超え、進学も困難な子どもたちが多く、電気・水道・ガス・トイレ等の無い住居で暮らしています。

現地の支援リーダーで、私たちと一緒に活動しているアウレリオ氏（校長・牧師）と日本に留学したエドワード氏（現地大学准教授）によって、支援物資は現地で配布され、皆さんが喜んでくださいました。彼らは、さらに貧しい山岳の地域に出向いてサポートを行いました。子どもたちが学校に行き、絶望から希望と笑顔を見だし、将来自立ができるように、彼らとともに支えていきたいと願っています。ぜひ、御協力をお願いします。



中・高・大学生等の若い世代も多数参加



フィリピンの4人の留学生も一緒に作業



皆さんのまごころを添えフィリピンに発送

あいテレビ「愛といのちのスペシャル〜笑みっていいね〜」にて、アジアキッズケアの支援物資の荷造り、フィリピンに到着した物資、現地のアウレリオ氏やエドワード氏によって配布される場面等が放映されました。

あいテレビスタッフが、実際にフィリピンに出向き、現地の貧困の現状、現地協力者の熱い思い、受け取った皆様の声などを取材し、配布当日、次のメールが当団体に届きました。「今日、支援物資が地域の皆さんに配られました。子供たちの喜ぶ表情、輝く瞳がとても印象的でした。子供たちのお宅にもお邪魔しましたが、想像以上に貧困は深刻でした。アジアキッズケアの活動は、とても意義あることを確信しました。詳細は帰国後ご報告いたします。」※この様子が約20分にわたって放映されました。ご希望の方には、番組DVDをお貸しします。



アウレリオ氏やエドワード氏と現地の皆さん



支援物資を受け取って喜ぶ子どもたち



母親の皆さんから「日本を愛しています」

<毎月実施する荷造りボランティアにご参加をお願いします> ※詳細は団体HPを御覧ください。

【実施日時】 毎月第3又は第4日曜日の14時～16時 【実施場所】 アジアキッズケア事務所

【連絡先】 E-mail : kids@zpost.plala.or.jp 電話 : 090-5912-4515 (担当 : 喜安)

フィリピンの貧困の子どもたちの生活・教育サポートのお願い

今回、緊急にフィリピンの貧困の子どもたちが学校に行くために、教育・生活支援のサポーターを求めています。現地協力者で、献身的に子どもたちを支援しているアウレリオ氏やエドワード氏を通して、サポート活動を行います。里親支援(毎月3000円の経済的サポート)への御協力をお願いします。

すでに、インド、マリ、マラウィ、ケニアなどの子どもたちに対しても、信頼できる現地協力者を通して、学校教育の推進とともに、将来の就労・自立につながる「ハンドto ハンド」によるサポート活動を行っています。

必要な支援物資を送付するとともに、奨学金の贈呈も行い、子どもの写真や手紙を日本のサポーターに送付します。皆様からの手紙も現地に送付し、相互交流も行います。詳しい資料を送付しますので、ご連絡ください。